

足元の市場変動におけるファンドの運用について

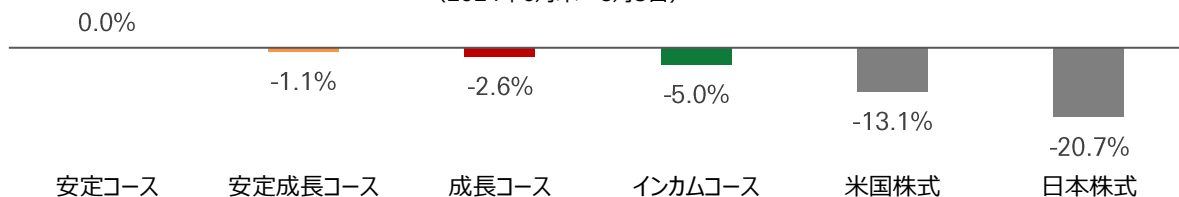
ワールド・セレクションの運用状況

基準価額の下落は限定的

金融市場は7月下旬以降、大きく変動しており、特に株式市場では日本株式が急落し、為替市場では円高が急速に進行しました。

ワールド・セレクションについても運用状況をご心配されている方も多くいらっしゃるかと存じますが、6月末から8月5日までの騰落率は下記の通り、安定コースは横ばい、その他は下落したものの下げ幅は限定的でした。

ワールド・セレクションおよび日米株式の騰落率
(2024年6月末～8月5日)



ワールド・セレクションの設定来の基準価額（分配金再投資）の推移
(2015年9月25日（インカムコースは2018年4月11日）～2024年8月5日)



保守的な運用を目指すための仕組み

ワールド・セレクションにおいては、不安定な市場環境でも価格変動を抑制するために、コース毎の目標リスク水準のもとで、幅広い地域・資産分散と為替の影響を軽減する為替ヘッジを行っています。

目標リスク水準の
設定

部分的に為替の
影響を軽減

幅広い分散

為替ヘッジとは、為替変動リスクを回避することです。ただし、当ファンドは世界の様々な資産に分散投資を行っており、一部為替ヘッジを行わない部分があります。

※ワールド・セレクションの基準価額は分配金再投資後の価額であり、信託報酬控除後の基準価額に税引前分配金を再投資したものと計算しています。
※米国株式はS&P500株価指数、日本株式はTOPIX（東証株価平均）を使用（配当込み、円ベース）
出所：LSEGのデータをもとに、HSBCアセットマネジメント株式会社が作成



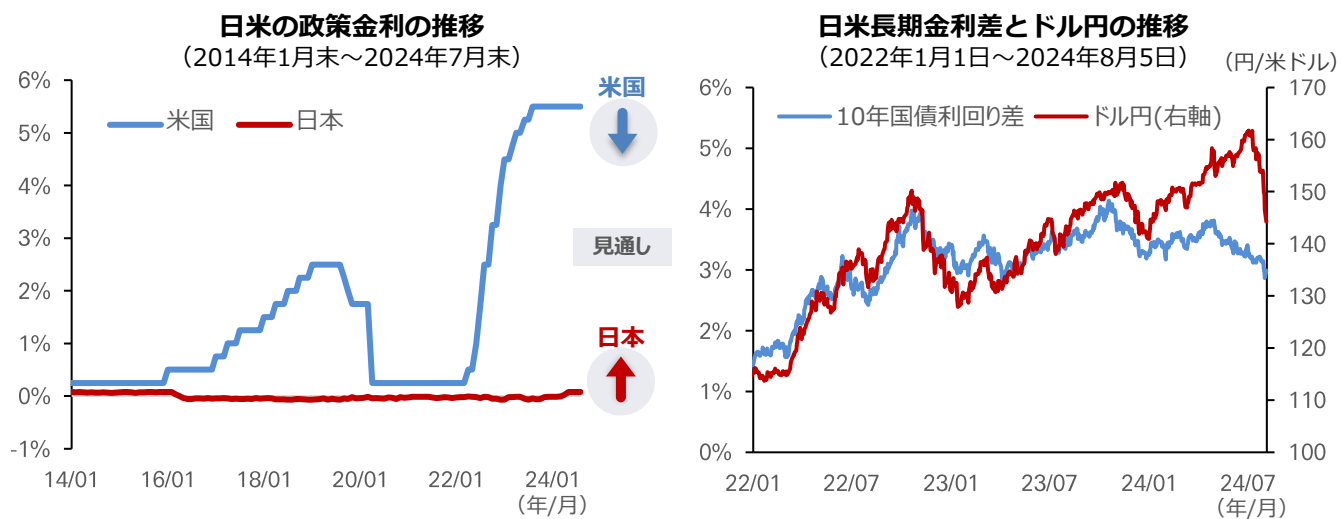
市場変動の背景

① 米国経済の見通し悪化

- 米国で对中国の半導体規制の強化が発表されたほか、今年に入り株式市場をけん引してきたハイテクセクターにおいて、半導体大手が冴えない決算内容を発表したことで7月中旬以降、株価は調整しました。
- さらに、8月に入り発表された経済指標で製造業および労働市場の悪化が示されたことから、景気減速が一層加速するとの懸念が強まりました。

② 日米金融政策の転換点

- 日本では、7月31日に金融政策決定会合で政策金利が0%から0.25%へ引き上げられました。
- 一方、米国は物価の上昇基調に落ち着きが見られ、9月の連邦準備理事会の金融政策決定会合では利下げに転じる可能性が高まっています。
- 日本では今後の追加利上げの可能性が示唆される一方で、米国は利下げへ舵を切るという対照的な金融政策により、日米の金利差縮小を見込んだ円高が進行しています。日米で金融政策の方向が異なる新たなステージに入ったと見ています。



※政策金利は、米国はFF金利の上限、日本は無担保コール翌日物金利を使用（月次）
出所：LSEGのデータをもとに、HSBCアセットマネジメント株式会社が作成

③ 米国大統領選挙の行方

- 2024年11月5日に行われるアメリカ大統領選挙においては、共和党候補のトランプ前大統領と民主党のハリス副大統領が戦う見通しです。
- 支持率は以下の通りほぼ拮抗しており、現時点での結果の予想は難しい状況です。政権交代による経済政策や外交方針の転換はリスク要因として、市場は不安定になることが想定されます。

各種世論調査における米大統領選支持率

	トランプ前大統領（共和党）	ハリス副大統領（民主党）
リアル・クリア・ポリティクス	48%	47%
CNN	49%	47%
ロイター／イプソス	42%	43%

2024年8月5日現在
出所：各種報道をもとに、HSBCアセットマネジメント株式会社が作成

HSBCの見通し

不確実性の高い局面

- 最近の経済指標からは米国経済をめぐる不確実性は高まりつつあります。経済が軟着陸する可能性も依然としてあると見ていますが、9月の利下げが見込まれる中、状況によってはより積極的な緩和政策が取られることも考えられます。
- また、地政学、選挙の動向も景気見通しを悪化させる可能性があり、留意が必要です。
- 足元の株式市場の調整は過剰反応と考えますが、経済の見通しが不安定な環境においては、変動の高い局面が当面続くことが予想されます。
- 日本においては日銀の追加利上げや円高、米国の景気減速が国内企業に与える影響度合いに左右される展開となると見ています。

ワールド・セレクションの運用戦略

利回りの活用

- HSBCでは不安定な市場環境において、「利回りを活用する」という戦略を重視します。特に、これまでの金利上昇を受けて、債券や代替資産の利回り水準が過去と比べても高く、今後のリターン向上に繋がると考えています。

国際優良株

- 株式市場では、人工知能といったAIブームにけん引された一部の米国企業への利益の偏りは解消され、米国以外を含めた世界の優良銘柄に資金がシフトする好機と考えています。

米国・日本以外の明るい兆しの地域に目を向ける

- インドをはじめとする国内需要が中心の一部のアジア地域は、米国景気の影響を相対的に受けにくく、また先進国に比べて金融引締め度合いが緩かったこともあり、今後の経済成長に期待が持てると思われます。

景気に左右されにくい資産の活用

- 不動産やインフラなどの実物資産は景気に左右されにくいという特性があり、景気減速が見込まれるなかでポートフォリオの分散効果を高める重要な役割を果たすと考えています。

HSBCワールド・セレクション
(愛称：ゆめラップ) の

特設サイト



特設サイトでは毎月の運用報告動画（3分）など最新の情報をお届けします。

ファンドの詳細はこちら
※外部サイトに移動します



当ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。

当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価変動リスク」、「金利変動リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、「その他資産のリスク」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はご自身でなさいますようお願い申し上げます。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【分配金に関する留意事項】

- 分配金は預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われるとその金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。
- その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【当資料で使用している指数について】

指数に関する知的財産権その他一切の権利は各指数の公表企業などに帰属します。また、指数公表企業などは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

当資料に関する留意事項

- 当資料はHSBCアセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料です。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。● 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務、情報の根拠となるデータなどについて公開する義務を一切負いません。
- 当ファンドは預金保険・貯金保険の対象ではありません。また、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。当ファンドの購入のお申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（クーリング・オフ）の適用はありません。● 当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。購入の申込みにあたっては、「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身で判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社： H S B Cアセットマネジメント株式会社
投資顧問会社（運用委託先）： HSBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッド
受託会社： 三菱UFJ信託銀行株式会社

HSBCアセットマネジメント株式会社

[照会先]



電話番号 03-3548-5690
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)



ホームページ
www.assetmanagement.hsbc.co.jp



お申込みメモ（詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降に販売会社でお支払いします。
信託期間	- 安定コース、安定成長コース、成長コース：無期限（信託設定日：2015年9月25日） - インカムコース：無期限（信託設定日：2018年4月11日）
繰上償還	各ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、各ファンドの信託を終了させる場合があります。
決算日	- 安定コース、安定成長コース、成長コース：毎年8月19日（休業日の場合は翌営業日） - インカムコース：年6回（毎年2月、4月、6月、8月、10月、12月の各19日。休業日の場合は翌営業日）
収益分配	- 安定コース、安定成長コース、成長コース：年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。 - インカムコース：年6回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。 ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 「安定コース」および「安定成長コース」はNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象であり、「成長コース」はNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」および「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、次のいずれかに該当する場合には、購入および換金の申込受付は行いません。 ロンドン、ニューヨーク、ルクセンブルグの証券取引所または銀行の休業日、ルクセンブルグのイースター・マンデーの前週の月曜日、クリスマス（12月25日）から4営業日※前となる日 ※ロンドンの証券取引所または銀行の営業日を指します。

ファンドの費用（詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入時にご負担いただきます。購入金額に、 1.65%（税抜1.50%） を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	各ファンド（コース）とも、ファンドの日々の純資産総額に対して、 年1.243%（税抜年1.13%） 安定コース、安定成長コース、成長コース：毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 インカムコース：毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 実質的な負担： 年1.303%（税抜年1.19%） 程度
その他費用・手数料	有価証券売買委託手数料、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。

ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

設定・運用は

HSBCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第308号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会